

さくら湖水源地域ビジョン ～地域の意見を返す会～

「地域の意見を返す会～総括会～」を平成17年12月3日（土）三春町自然観察ステーションにて43名の方と共に開催致しました。同じく「地域の意見を返す会～分科会へ～」を平成18年1月14日（土）三春交流館まほらにて41名の方と共に開催致しました。

さくら湖水源地域ビジョンについては、管理ニュースNO.21,22,35,38,39,43,45にも載っておりますので興味のある方はもう一度読んでみて下さい。バックナンバーは管理所にありますので。（^^）/

では、今回開催した～総括会～の内容は、これまでの経緯や今後の進め方について説明し、ビジョン策定に向けて皆さんと検討テーマなどを確認しました。



平成17年12月3日（土）
さくら湖自然観察ステーション



地域の意見を返す会 ～総括会～



平成18年1月14日（土）
三春交流館まほら



地域の意見を返す会 ～分科会～

～分科会へ～の内容は、これまで参加者の皆さんと一緒に議論してきましたが、各テーマ毎に分かれて具体的な議論を行う次の段階へステップアップの場でした。

議論する気になるテーマは①地域の自然を守り育てる②地域の資源を活かす③地域をつなげ発信するの3つです。各テーマ毎に分かれたのが初めてであり、自己紹介などで時間になってしまいましたが、今後の予定としては、来年度中に、策定委員会・分科会を何度か開催し、さくら湖水源地域ビジョンを策定出来ればと考えております。

詳しくお伝え出来ないのが残念ですが、地域活性化のために興味のある方は是非三春ダム管理所まで！電話でもメールでも葉書でも何でも結構ですのでお待ちしております。

中堅事務研修に参加して

総務係 熊谷卓也

去る12月12日から5日間、多賀城研修所において実施された「中堅事務研修」に参加してきました。この研修は、一般事務を担当する採用後7年以上の職員が対象となっており、おもに私と同じくらいの歳（30歳前後）の職員が集まりました。

この研修では「入札契約制度」といった実際携わっている業務についての講義はもちろんのこと、外部講師による「男女共同参画」「対人能力の強化」「プレゼンテーション技術」といった円滑な業務には欠かせない事柄を扱った講義が多数ありました。どの講義でも必ず取り上げていたことが、より良い「コミュニケーション」の仕方についてです。人前で話

すことが苦手な私ですが、講義の中では大勢の前で説明したり、発声練習のために早口言葉を使うなど普段できないようなことを経験しました。綿密な準備の下、思いやりの心をもって好意的な表情で説明することが重要であり、また、知識と経験は貯めこむものではなく活かすものであるということ学びました。

今回の研修で得たことを今後の業務に活かし、さらなるスキルアップにつなげることができればと思います。



平成17年度 阿武隈川上流 児童図画コンクール 入賞作品 表彰式 開催



図画部門入賞者



ポスター部門入賞者

平成17年度「阿武隈川上流児童図画コンクール」の表彰式が12月26日（月）福島市のウェディングエルティで開催されました。

このコンクールは、「川に関する」児童図画の募集を通して、次世代を担う子供たちに川に対する思いを深めて頂くとともに、その作品を広報に活用することによって、流域住民の方々に対し、河川愛護意識等の普及と「阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会」が実施する事業について理解を得ることを目的としています。

今回は、18市町村（151の小学校）から2,226点の応募がありました。審査の結果、図画部門28点、ポスター部門27点の入賞作品が選ばれました。

三春ダム資料館では、3月下旬まで入賞作品を展示しています。また、三春ダム管理所ホームページでも、入賞作品一点一点をご紹介しますのでご覧ください。

三春ダム管理所ホームページアドレス <http://www.thr.go.jp/miharu>

さくら湖の冬景色

今年のさくら湖は、昨年のような大雪は降らないものの寒さが厳しく、場所によっては10cm以上の厚い氷が張り、春田大橋の下まで結氷しました。凍った湖面の上に雪が降り積もり、さくら湖の冬景色は、毎日変化します。



平成18年1月11日撮影



平成17年2月17日撮影

また、たくさんの冬鳥たちもさくら湖に訪れています。ちょっと足をのぼして、冬のさくら湖を見に来てみませんか。

メダカ観察日記

Part 5



最終的に、今回の子メダカ孵化確認量としては35匹程度。この量は親メダカより多数派になっています。一緒に孵化用水槽に入れた卵だったのに孵化した時期の差は最大で2週間程度、インターネットの情報とはかなり開きがありました。

子メダカ水槽（孵化用水槽は孵化したことにより子メダカ水槽に改名）は、毎回乾燥ミジンコ粉末も味気ないですから自家製栽培を目指し水替えについてはしばらく行わない方向としました。（決して横着している訳ではないんですよ）その代わりにタニシを10匹程度入れておいたところ、さ～大変、水槽のガラスはきれいにしてくれますが、排泄物の量が半端じゃない、ガラスはきれいなのに排泄物+排泄物を餌にした藻類が大繁殖＝水は真緑で視界0、子メダカの姿が見えません。水替えをしようかとも思いましたが、子メダカサイズは5mm程度ですから、換えた水と一緒に排水してしまいそう。どうしようかと悩みつつ2ヶ月程度が過ぎた頃、真緑の水槽の上の方を泳いでいる子メダカを確認！！

な・なんと、髪の毛の先っぽに玉が2個付

いた形状だったものが、親メダカと同じ形にメタモルフォーゼ。サイズも1cm弱位まで成長しています。

ここで生き物係は決断、この水は成長を促進させる魔法の水ではあるけれども、かわいい子メダカの姿が見えないのでは癒しにならない。（すでに初期目的と離れている）サイズも親メダカに食われることはないであろうサイズに成長したし、親メダカと同居を決意しました。

慎重に水を濾過器（ただの網ともいう）に入れていき子メダカを確認しつつ、真緑の水を排水、ミニチュアメダカともいうべき愛らしい子メダカは24匹となっていました。最初の頃よりだいぶスリム化？。

親メダカと一緒に水槽に移設したところ、最初は子メダカ群で一塊りになっていましたが、次第に自由に泳ぎだし、餌（磨り潰さない乾燥ミジンコ）も親メダカに混じって食べています。

これで生き物係の業務も楽になる（水槽一個になりましたから）と思っていたら、新たな敵が襲来！は、また来月のお話で・・・



ミーちゃん＆れんくんの なぜ?なに?さくら湖



Q. 大雨のときに、三春ダムはどのような働きをして洪水を防ぐの?

A. ダム管理の中で最も重要なのが「洪水調節」です。上流で降った大雨は、いったんダムの貯水池で貯められ、下流河川があふれないようにダムで調節して水を流します。

三春ダムでは、最大1秒間に700m³の水(50mプールの1.5倍の水)が流入した場合、そのうち600m³をダムに貯めて100m³を下流に流します。(100m³までは洪水の被害が発生しない量です。)

このようにして台風や大雨によって河川が増水しても、ダムに貯めて下流での水害を防ぎます。

ダム管理所で働く人は、変化する気象状況、ダムへの流入量などを迅速・的確に判断しなければなりません。まず、気象情報などに基づいて出水の予告を行ったり、貯水池に入ってくる流量がどのように変化するかを判断し、ダムを効果的に機能させて、下流水害の軽減を図ります。



自然観察ステーションからのお知らせ

<星を見る会>

2月18日(土)、24日(金)

午後7時～9時 ※荒天中止(曇天・風雪・雷など)

暖かい格好でお越しください。

三春町の環境学習の活動内容を三春ダムホームページで紹介しています。

(さくら湖自然環境フォーラム2005「さくら湖自然観察ステーションの環境学習の紹介」をご覧ください)



—お問合せ先—

さくら湖自然観察ステーション
0247-61-1546
三春交流館まほら
0247-62-3837

資料館からのお知らせ

平成17年度 阿武隈川上流 児童画コンクール 入賞作品展 開催中

図画部門(28点)、ポスター部門(27点)の全55点の入賞作品を三春ダム資料館(1階展示ギャラリー・2階)で展示しております。



1階 図画部門



皆様のお越しをお待ちしております



2階 ポスター部門



3月下旬まで展示しています。

12月の見学者



12月20日(火) 日本大学 工学部のみなさん 19名

編集後記

今年もインフルエンザが流行しています。みなさんは、ちゃんと予

防していますか? 外から帰ったらまず、手洗い・うがいは忘れずに! また、緑茶や紅茶などでうがいするのも殺菌効果があって有効的だそうです。寒さに負けず冬を乗りきりましょう。 石井



編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供をお待ちしております。

〒963-7722
福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
TEL0247-62-3145 FAX0247-62-3170
ホームページアドレス
<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>